

自転車の本格化へ街の動き

広島市が新年度



都心の放置対策
歩道に民間駐輪場

車道走行を促進
専用レーン設置へ

広島市は2013年度、自転車を利用しやすいまちを目指す取り組みを本格化させる。中心部の放置自転車対策として歩道に民間駐輪場を新設。事故を減らし走りやすい環境を整えるため、車道への自転車専用レーン設置に向けた検討を始める。

(加納亜弥)

民間駐輪場について市は、商業施設やオフィスが集中する紙屋町、八丁堀地区の幅の広い歩道に複数箇所(計約250台分)の設置を想定。利用料金など一定の条件を付け駐輪場を整備、運営する事業者を公募する。事業者は道路占用料を市に支払い、利用料を得る。市はまた、民

広島市が放置を規制している路上に並ぶ自転車(中区大手町)

ズに定める駐輪場を民間の活力を導入して増やし、放置自転車を減らしたい」とする。

一方、自転車専用レーンは、自転車の歩道走行を車道走行へ促すのが狙い。13年度は車道走行の現状や、専用レーンの整備が困難な道路の代替策などを調べ、レーンを整備する道路の優先順位を検討する。実際に設けるのは14年度以降という。

このほか児童、生徒を対象に独自の自転車運転免許証を発行する制度を設けたり、街頭指導をしたりして交通ルールの徹底を図る。

松 予をこ

算数